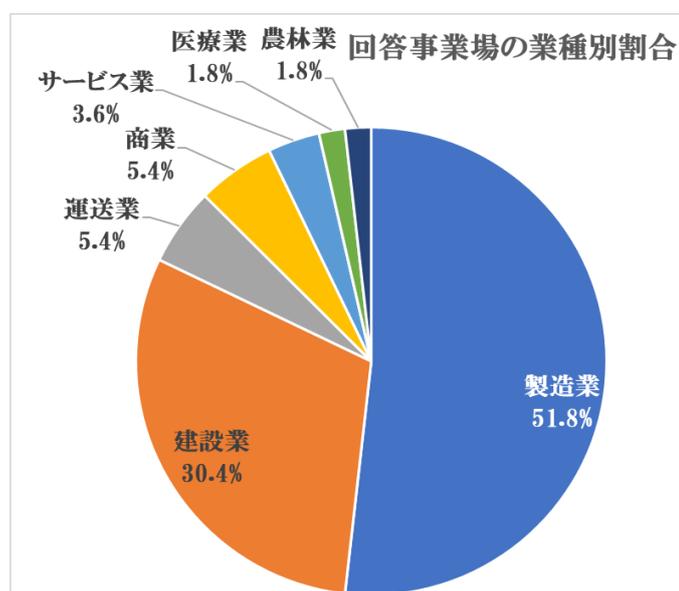
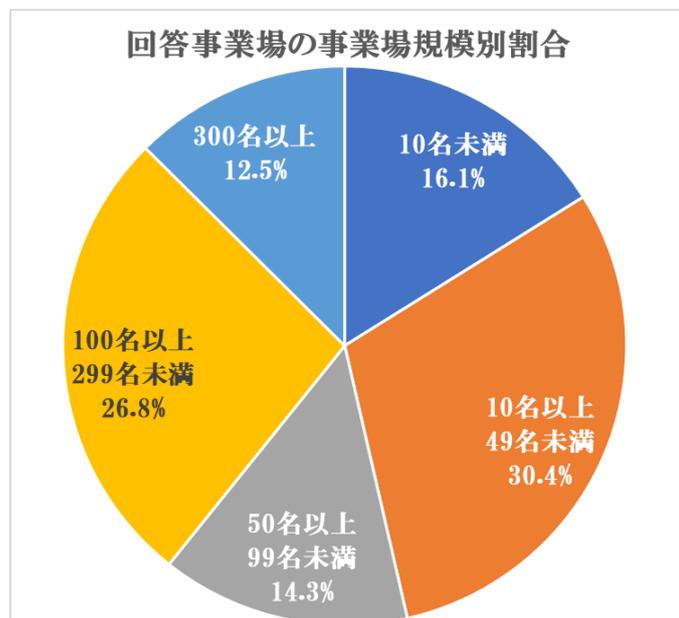


令和4年全国安全週間実施事項の取組状況アンケート(金沢地区)

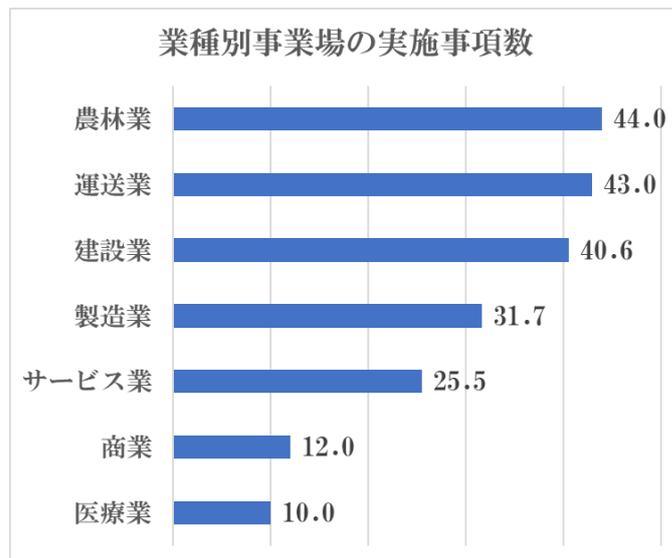
令和4年全国安全週間の事業場において実施する事項の取組状況のアンケートを実施いたしましたところ、会員及び協力団体の事業場から回答をいただきました結果をお知らせします。回答事業場の業種別内訳は、最も多い製造業が51.8%で、次いで建設業が30.4%、運送業と商業がそれぞれ5.4%、サービス業が3.6%、医療業と農林業がそれぞれ1.8%でした。



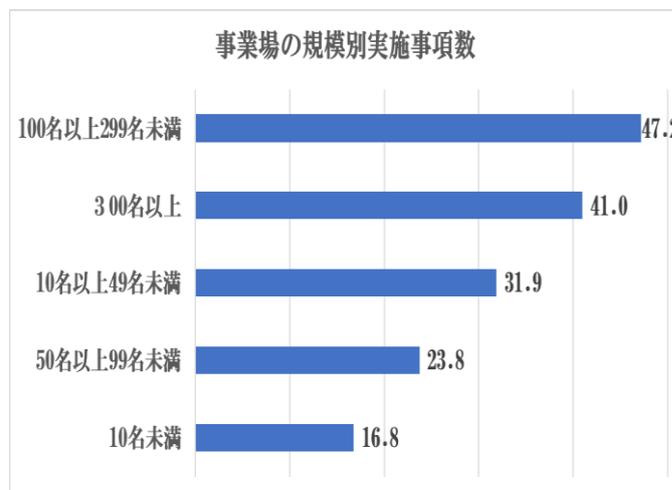
回答事業場の規模別内訳は、10名以上49名未満規模が30.4%でも最も多く、次いで100名以上299名未満規模が26.8%、10名未満規模が16.1%、50名以上99名未満規模14.3%、300名以上が12.5%でした。



全国安全週間の事業場の実施する事項数の平均は33.5項目でした。これを業種別にみると、最も多い農林業が44.0項目、次いで運送業が43.0項目、以下、建設業40.6項目、製造業31.7項目、サービス業25.5項目、商業12.0項目、医療業10.0項目を実施していました。



全国安全週間の事業場の実施する事項数の平均は33.5項目でした。これを規模別にみると、最も多い100名以上299名未満規模が47.2項目、次いで300名以上規模が41.0項目、以下、10名以上49名未満31.9項目、50名以上99名未満規模23.8項目10名未満規模16.8項目を実施していました。



今年は、金沢労働基準協会の会員のほか、商工会と工業団地や工事組合からも回答をいただきましたので、製造業と建設業の割合が大きくなりました。

令和4年全国安全週間の事業場の実施する事項への取組状況【金沢地区】

アンケート110項目の平均取組状況は30.8%でした。

これを重点事項別にみると、

経営トップによる安全所信表明	32.9%
職場での安全意識の高揚	26.3%
安全衛生管理体制の確立	45.1%
安全衛生教育の実施	33.0%
自主的な安全衛生活動	36.0%
リスクアセスメント	29.1%
機械設備の安全対策	23.5%
搬送作業の災害防止対策	27.1%
転倒災害防止対策	31.0%
墜落転落災害防止対策	22.0%
倉庫内作業の災害防止対策	22.9%
交通労働災害防止対策	28.6%
高年齢労働者労働災害防止対策	13.9%
外国人労働者労働災害防止対策	5.8%
派遣労働者労働災害防止対策	8.0%
元方事業者の統括安全衛生管理	25.0%
下請業者安全衛生教育の実施	29.4%
足場・作業構台の災害防止対策	34.0%
移動式クレーン災害防止対策	22.8%
高所作業車災害防止対策	42.0%
車両系建設機械災害防止対策	28.9%
感電災害防止対策	29.0%

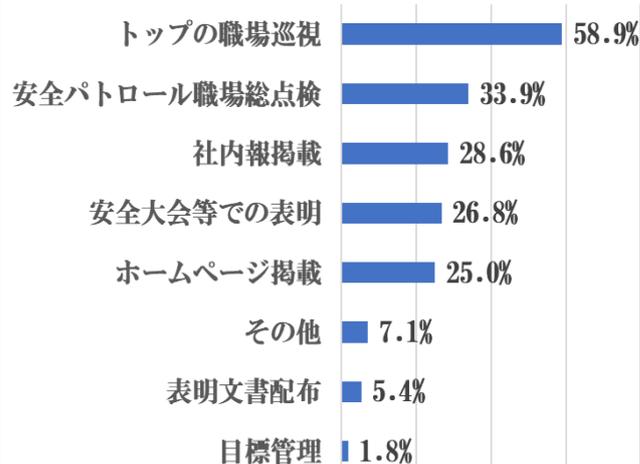
重点事項の取組状況



1. 「経営トップによる安全所信表明」になんらかの取り組みを行っている事業場は32.9%でした。

最も多い「トップの職場巡視」が58.9%で、次いで「安全パトロール職場総点検」が33.9%、以下「社内報掲載」28.6%、「安全大会等での表明」26.8%でした。さらに「ホームページ掲載」25.0%、「表明文書配布」5.4%、「目標管理」1.8%、「その他」6.8%でした。

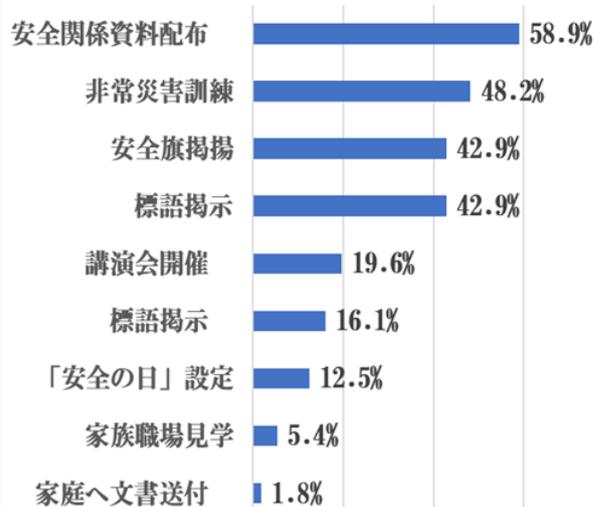
経営トップによる安全所信表明



2. 「職場での安全意識の高揚」になんらかの取り組みを行っている事業場は26.3%でした。

項目別は、最も多い「安全関係資料配布」が58.9%、次いで「非常災害訓練」が48.2%、以下、「標語掲示」42.9%、「安全旗掲揚」42.9%、「講演会開催」19.6%、「標語掲示」16.1%、「安全の日」設定12.5%、「家族職場見学」5.4%、「家庭へ文書送付」1.8%でした。

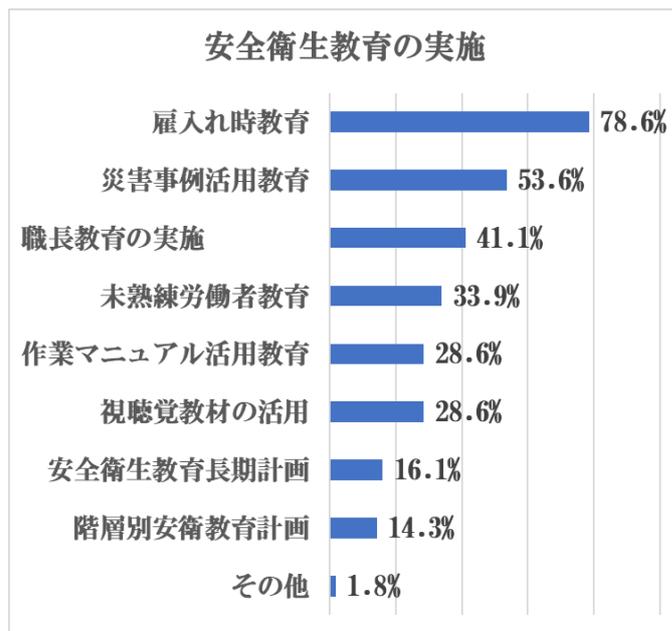
職場での安全意識の高揚



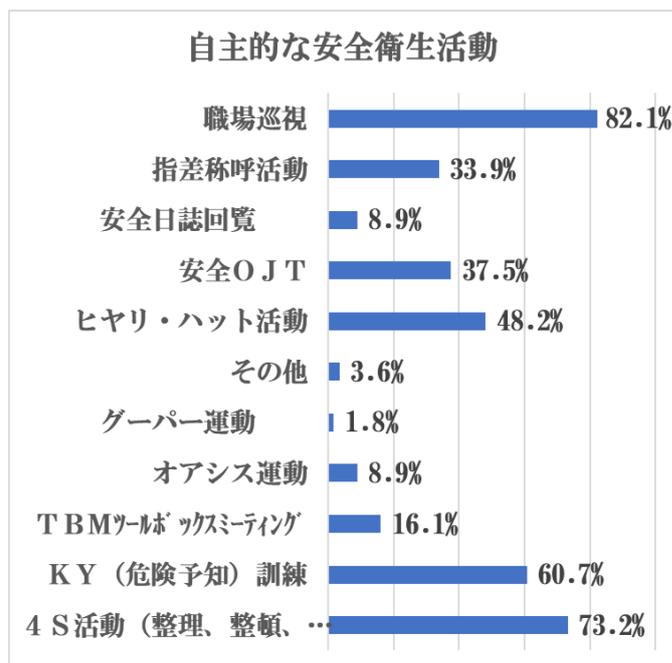
3. 【安全衛生管理体制の確立】になんらかの取り組みを行っている事業場は45.1%でした。項目別は、最も多い「有資格者リスト」が67.9%、次いで「年間安全衛生計画策定」と「安全衛生委員会の設置運営」が62.5%、以下、「作業主任者選任」と「安全作業マニュアル整備」が53.6%、「安全管理者選任」50.0%、「安全衛生規程整備」48.2%、「安全担当者巡視報告」33.9%、「安全衛生責任者選任」と「安全衛生推進者選任」17.9%、「労働安全衛生マネジメントシステム導入」10.7%、「PDCAサイクルの確立」8.9%、「店社安全管理者選任」7.1%でした。



4. 「安全衛生教育の実施」になんらかの取り組みを行っている事業場は33.0%でした。項目別には、最も多い「雇入れ時教育」が78.6%、次いで「災害事例活用教育」が53.6%、以下、「職長教育の実施」41.1%、「未熟練労働者教育」33.9%、「視聴覚教材の活用」と「作業マニュアル活用教育」が28.6%、「安全衛生教育長期計画」16.1%、「階層別安衛教育計画」14.3%でした。

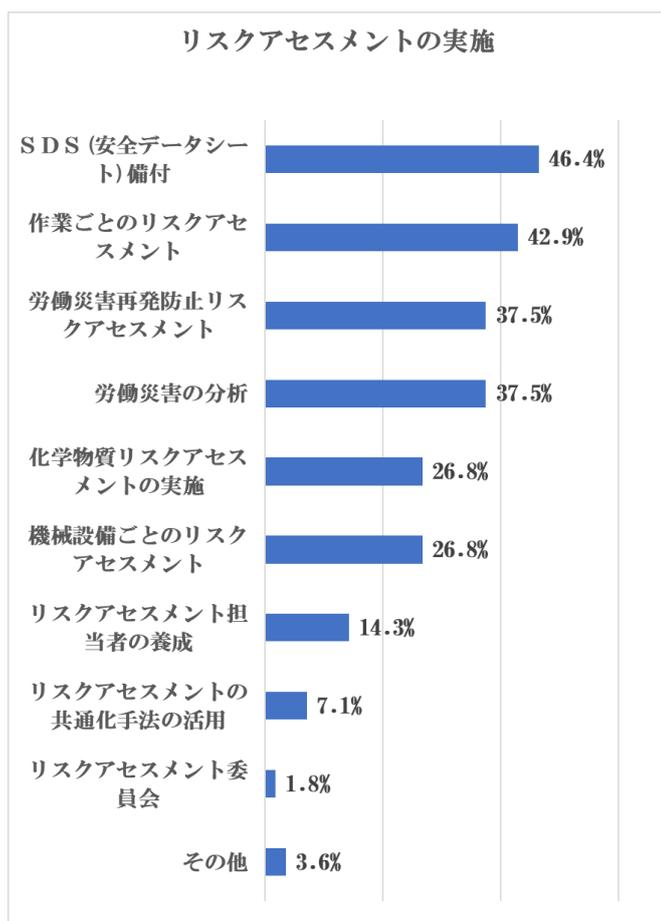


5. 「自主的な安全衛生活動」になんらかの取り組みを行っている事業場は36.0%でした。項目別には、最も多い「職場巡視」が82.1%、次いで「4S活動（整理、整頓、清掃、清潔）」が73.2%、以下、「KY（危険予知）訓練」60.7%、「ヒヤリ・ハット活動」48.2%、「安全OJT」37.5%、「指差称呼活動」33.9%、「TBMツールボックスミーティング」16.1%、「安全日誌回覧」と「オアシス運動」8.9%でした。「グーパー運動」1.8%もありました。



6. 「リスクアセスメント」になんらかの取り組みを行っている事業場は29.1%でした。項目別には、最も多い「SDS（安全データシート）備付」が46.4%、次いで「作業ごとのリスクアセスメント」が42.9%、

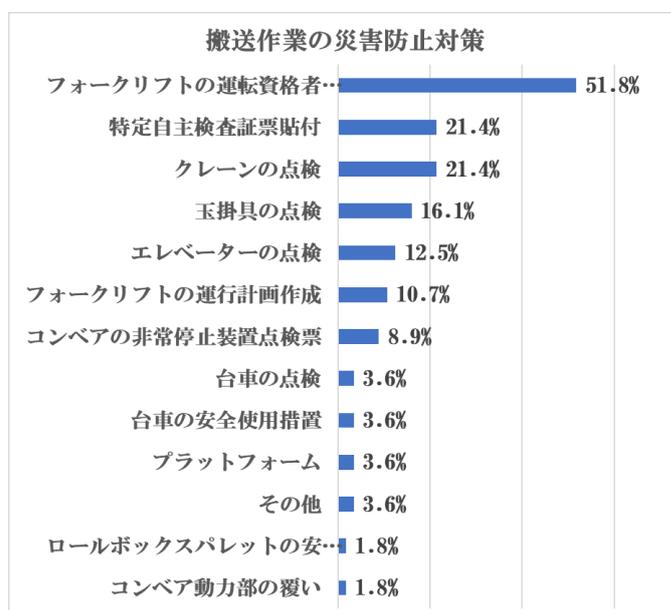
以下、「労働災害の分析」と「労働災害再発防止リスクアセスメント」が37.5%、「機械設備ごとのリスクアセスメント」と2「化学物質リスクアセスメントの実施」が26.8%、「リスクアセスメント担当者の養成」14.3%、「リスクアセスメントの共通化手法の活用」7.1%であり、「リスクアセスメント委員会」1.8%というのもありました。



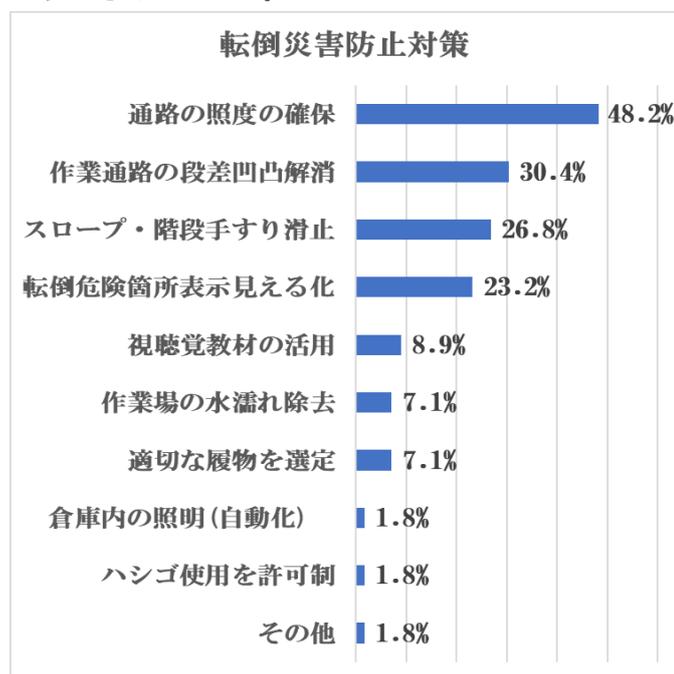
7. 「機械設備の安全対策」になんらかの取り組みを行っている事業場は23.5%でした。項目別には、最も多い「機械機能安全の活用」が21.4%、次いで「作業開始前点検票」が19.6%、以下、「機械の危険部分への覆いチェックリスト」14.3%、「機械別安全チェックリスト」と「優先順位を付けた点検補修計画」が12.5%、「機械間通路の危険箇所防護」10.7%、「はさまれ危険箇所マップ」8.9%、「ストック端の危険箇所防護」と「高経年施設設備更新計画」が7.1%、「機械間通路の危険箇所マップ」5.4%、「ストック端の危険箇所マップ」と「機械間通路の幅員確保」1.8%でした。一昨年から加わったいろんな「危険箇所マップ」の取組は低調なようです。



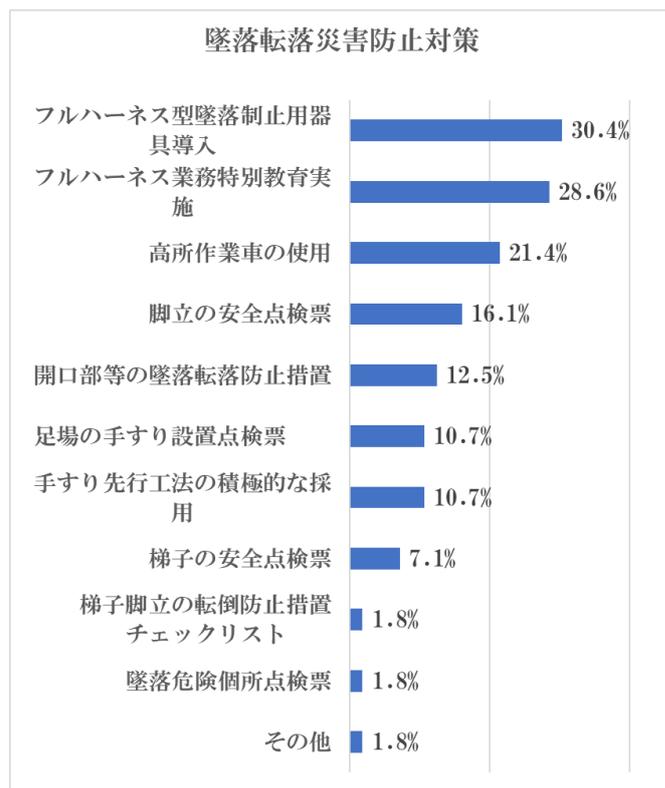
8. 「搬送作業の災害防止対策」になんらかの取り組みを行っている事業場は27.1%でした。項目別に、最も多い「フォークリフトの運転資格者配置」が51.8%、次いで「クレーンの点検」と「特定自主検査証票貼付」が21.4%、「玉掛具の点検」16.1%、「エレベーターの点検」12.5%、「フォークリフトの運行計画作成」10.7%、「コンベアの非常停止装置点検票」8.9%であり、「プラットフォームの設置」や「台車の安全使用措置」、「台車の点検」、「コンベア動力部の覆い」、「ロールボックスパレットの安全使用（8つの作業ルール）」もありました。



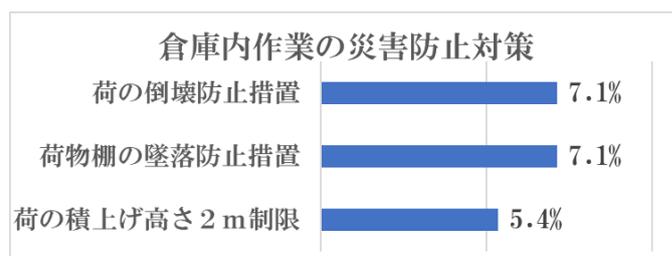
9. 「転倒災害防止対策」になんらかの取り組みを行っている事業場は31.0%でした。項目別には、最も多い「通路の照度の確保」が48.2%、次いで「作業通路の段差や凹凸の解消」が30.4%、以下「スロープ・階段の手すり滑り止め設置」26.8%、「転倒危険箇所の表示「見える化」23.2%、「視聴覚教材の活用」8.9%、「作業場の水濡れ除去」と今年新しく加えられた「転倒防止のための適切な履物を選定」とが7.1%でした。「ハシゴ使用を許可制」や「倉庫内の照明自動化」というのもありました。



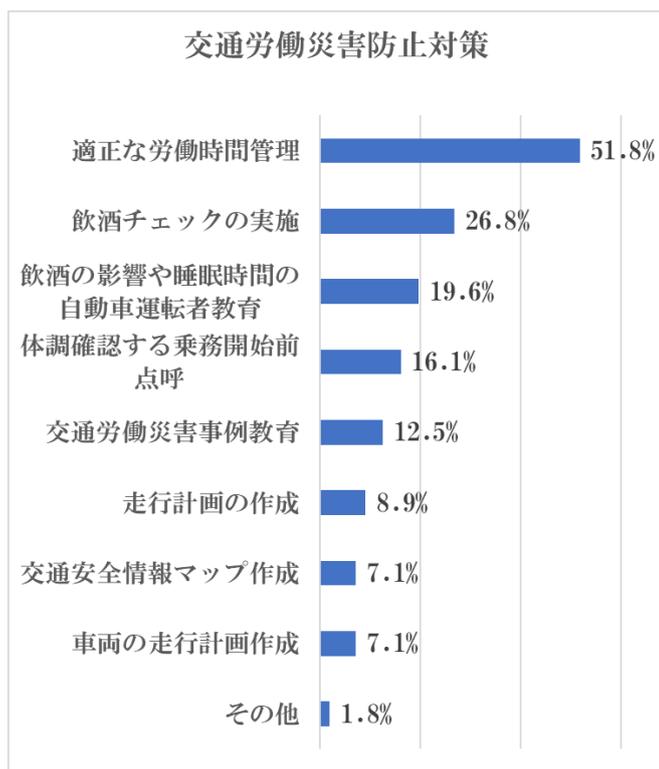
10. 「墜落転落災害防止対策」になんらかの取り組みを行っている事業場は22.0%でした。項目別は、最も多い「フルハーネス型墜落制止用器具導入」が30.4%、次いで「フルハーネス業務特別教育実施」が28.6%、以下、「高所作業車の使用」21.4%、「脚立の安全点検票」16.1%、「開口部等の墜落転落防止措置」12.5%、「手すり先行工法の積極的な採用」と「足場の手すり設置点検票」とが10.7%、「梯子の安全点検票」7.1%でした。「墜落危険箇所点検票」や「梯子脚立の転倒防止措置チェックリスト」もありました。



11. 「倉庫内作業の災害防止対策」になんらかの取り組みを行っている事業場は10.4%でした。最も多い「荷物棚の墜落防止措置」と荷の倒壊防止措置」とが7.1%、次いで「荷の積上げ高さ2m制限」が5.4%でした。



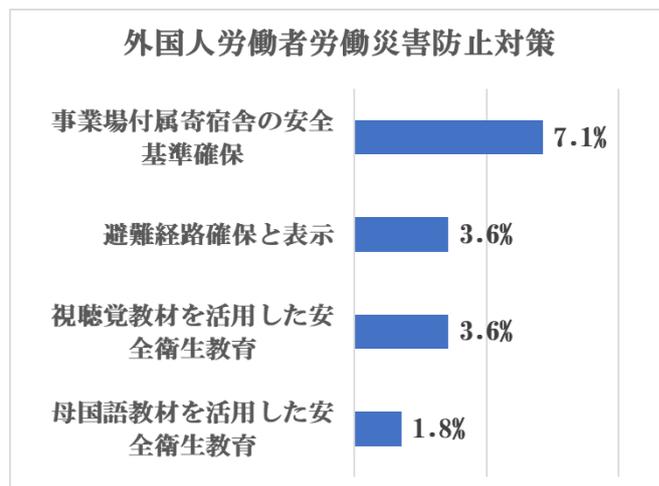
12. 「交通労働災害防止対策」になんらかの取り組みを行っている事業場は28.6%でした。項目別には、最も多い「適正な労働時間管理」が51.8%、次いで「飲酒チェックの実施」が26.8%、以下、「飲酒の影響や睡眠時間の自動車運転者教育」19.6%、「体調確認する乗務開始前点呼」16.1%、「交通労働災害事例教育」12.5%、「走行計画の作成」8.9%、「車両の走行計画作成」と「交通安全情報マップ作成」とが7.1%でした。



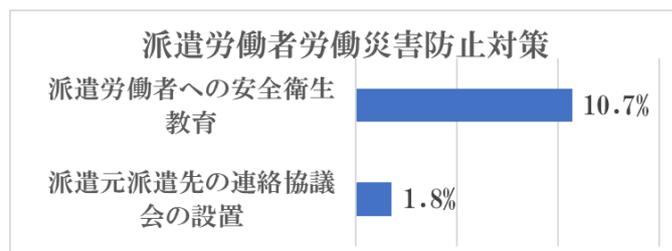
13. 「高年齢労働者労働災害防止対策」になんらかの取り組みを行っている事業場は13.9%でした。最も多い「高年齢労働者の健康体力状況チェックリスト」が14.3%、次いで「ゆとりのある作業スピード等の作業管理」が10.7%、以下、「身体機能低下によるリスクアセスメント」と「補助機器等身体機能を補う設備・装置の導入」とが7.1%、「作業のしやすい工夫」5.4%、「高齢者が見やすい表示」3.6%となっていました。



14. 「外国人労働者労働災害防止対策」になんらかの取り組みを行っている事業場は5.8%でした。最も多い「母国語教材を活用した安全衛生教育」が7.1%、次いで「視聴覚教材を活用した安全衛生教育」3.6%、「避難経路確保と表示」3.6%、「事業場付属寄宿舎の安全基準確保」1.8%となっていました。



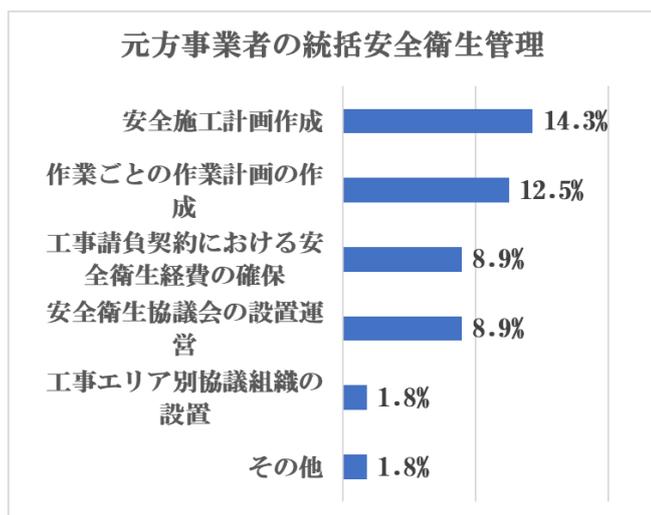
15. 「派遣労働者労働災害防止対策」になんらかの取り組みを行っている事業場は8.0%でした。最も多い「派遣労働者への安全衛生教育」が10.7%、次いで「派遣元派遣先の連絡協議会の設置」が1.8%でした。



16. 「元方事業者の統括安全衛生管理」になんらかの

取り組みを行っている事業場は25.0%でした。

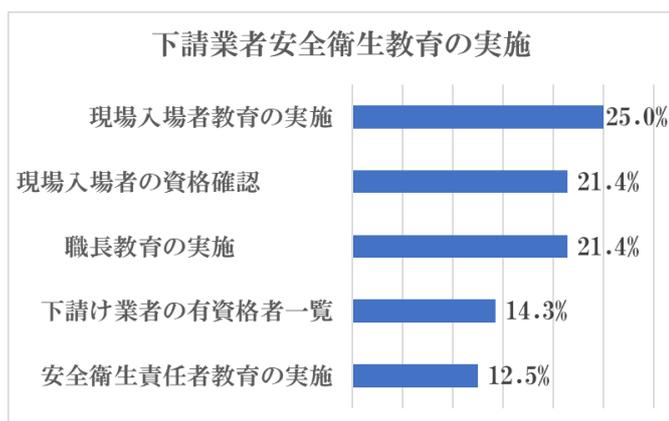
最も多い「安全施工計画作成」が14.3%、次いで「作業ごとの作業計画の作成」が12.5%、以下、「安全衛生協議会の設置運営」と「工事請負契約における安全衛生経費の確保」とが8.9%でした。「工事エリア別協議組織の設置」もありました。



17. 「下請業者安全衛生教育の実施」になんらかの取

組みを行っている事業場は29.4%でした。

最も多い「現場入場者教育の実施」が25.0%、次いで「職長教育の実施」が21.4%、以下、「現場入場者の資格確認」21.4%、「下請け業者の有資格者一覧作成」14.3%、「安全衛生責任者教育の実施」12.5%でした。

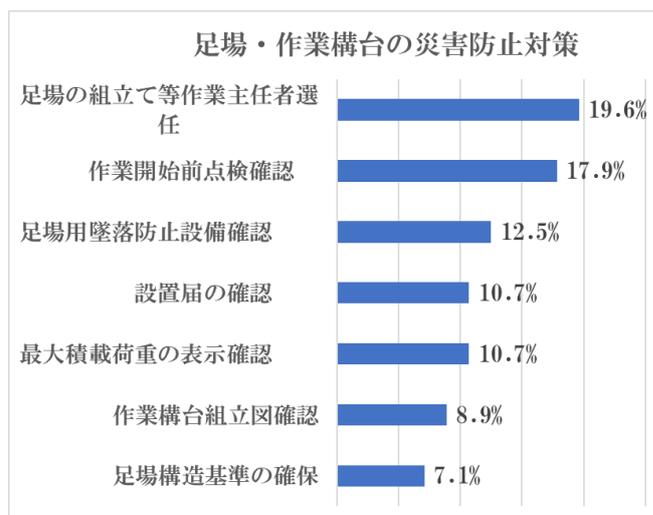


18. 「足場・作業構台の災害防止対策」になんらかの

取り組みを行っている事業場は34.0%でした。

最も多い「足場の組立て等作業主任者選任」が19.6%、次いで「作業開始前点検確認」が17.9%、以下、「足場用墜落防止設備確認」12.5%、「最大積載荷重の表示確認」と設置届の確認」とが10.7%、「作業構台組立図確認」8.9%、「足場構造基準の確保」7.1%となっていまし

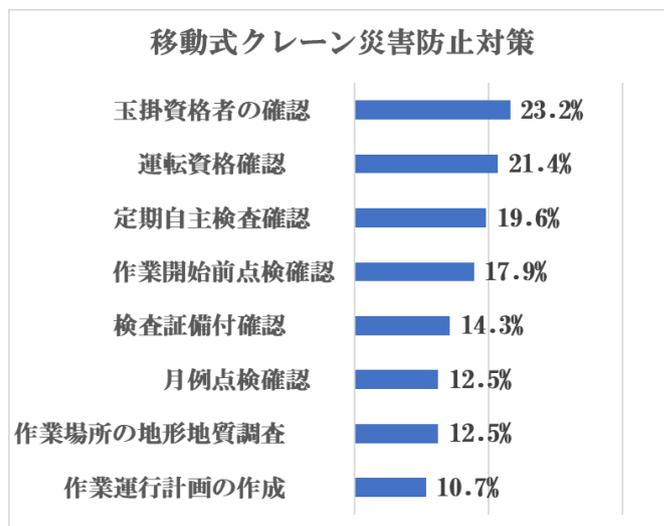
た。



19. 「移動式クレーン災害防止対策」になんらかの取

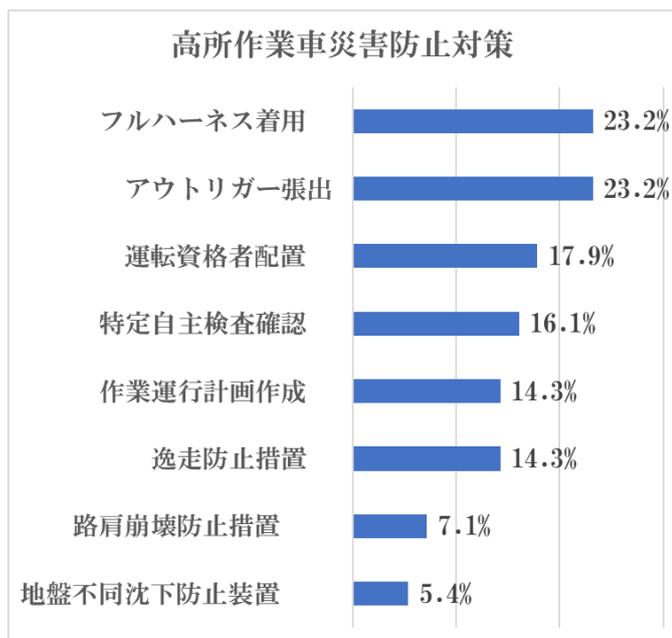
組みを行っている事業場は22.8%でした。

最も多い「玉掛資格者の確認」が23.2%、次いで「運転資格確認」が21.4%、以下、「定期自主検査確認」19.6%、「作業開始前点検確認」17.9%、「検査証備付確認」14.3%、「作業場所の地形地質調査」と「月例点検確認」とが12.5%、「作業運行計画の作成」が10.7%でした。



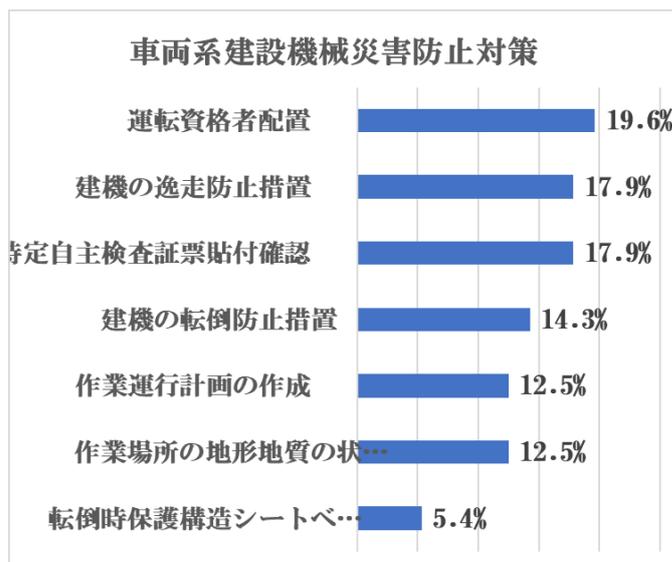
20. 「高所作業車災害防止対策」になんらかの取り組みを行っている事業場は23.5%でした。

最も多い「アウトリガー張出」と「フルハーネス着用」が23.2%、次いで「運転資格者配置」が17.9%、以下、「特定自主検査確認」16.1%、「逸走防止措置」と「作業運行計画作成」とが14.3%、「路肩崩壊防止措置」7.1%、「地盤不同沈下防止装置」5.4%でした。



21. 「車両系建設機械災害防止対策」になんらかの取り組みを行っている事業場は28.9%でした。

最も多い「運転資格者配置」が19.6%、ついで「特定自主検査証票貼付確認」と「建機の逸走防止措置」が17.9%、以下、「建機の転倒防止措置」14.3%、「作業場所の地形地質の状態調査」と「作業運行計画の作成」とが12.5%、「転倒時保護構造シートベルト」5.4%でした。



22. 「感電災害防止対策」になんらかの取り組みを行っている事業場は29.0%でした。項目別には、

最も多い「絶縁用保護具着用」と「感電危険防止囲いの設置」とが12.5%、次いで「充電電路に絶縁用防護具装着」と「活線作業・近接作業の絶縁用防護具装着」と「監視人による作業監視」とが10.7%、「活線作業用器具の使用」と「活線作業用装置の使用」と「充電電路の移設」とが8.9%でした。

